

新高機密第四九號

二月廿六日

二月廿六日

臨檢報告

明治廿八年二月廿日於竹敷

新高艦長 窪田義基



時令艦隊司令官 東郷平八郎 啟

臨檢士官 海軍大尉 齋藤酒造 之助

臨檢日時 明治廿八年二月廿日午後四時廿五分

臨檢位置 三島燈臺、東北、東、北、約四十海里 (海軍三十五度七分)

船名(符定) EWA (RINT)

國籍 獨之國

警團籍姓名 獨之人 Ritter



參謀長 參謀



中尉 窪田義基

三月

0596

船主名	Mc Jorden 會社 (ハミントン市)
船員乗客 数及其国籍	獨乙人二十八名 乗客也
噸数	二千八百三十三噸
形状及識別	二橋二烟突 船体及烟突共黒
載貨	無
出發地	室蘭
出發日時	明治廿八年二月十六日午前七時
目的地	香港
航路概畧	室蘭より香港ニ直航、途經釧路、海軍佐渡、東海、枚舖
船舶書類	完備
記事	對馬北方哨戒中、午後三時廿五分紅方二層汽船煤煙ヲ認め、之接近ニ察航及到達地不明ノ信号ヲ受テ、空島ニ應答スルニ停止ヲ命ジタル後、日本ヨリ香港

0597

本信守高ナリ信檢、結果異状ナキヲ以テ解放ス  
（中略）浦塩斯徳ヨリ室蘭ノ入リ十  
 九日間漂泊ノ後此回香港ニ回籠スルヲ以テ令  
 行動ニ至キハ松長自ラ不明ナリノ由ヲ令知スルヲ入  
 稟ヲ要ストス  
 十六日午辰三時津輕海峡ニ於テ水雷艇ノ信檢  
 ヲ受ケ居シリ

海

軍

0598

軍令部

軍務局

司令部



陸軍第二〇七號

英國海軍艦艇「ヒヤナ」号の捕獲に關する事  
 對し、陸軍報告別冊に記述せらるる如し  
 明治三十二年二月廿五日  
 陸軍部陸軍局長 大塚 實  
 海軍部海軍局長 大塚 實

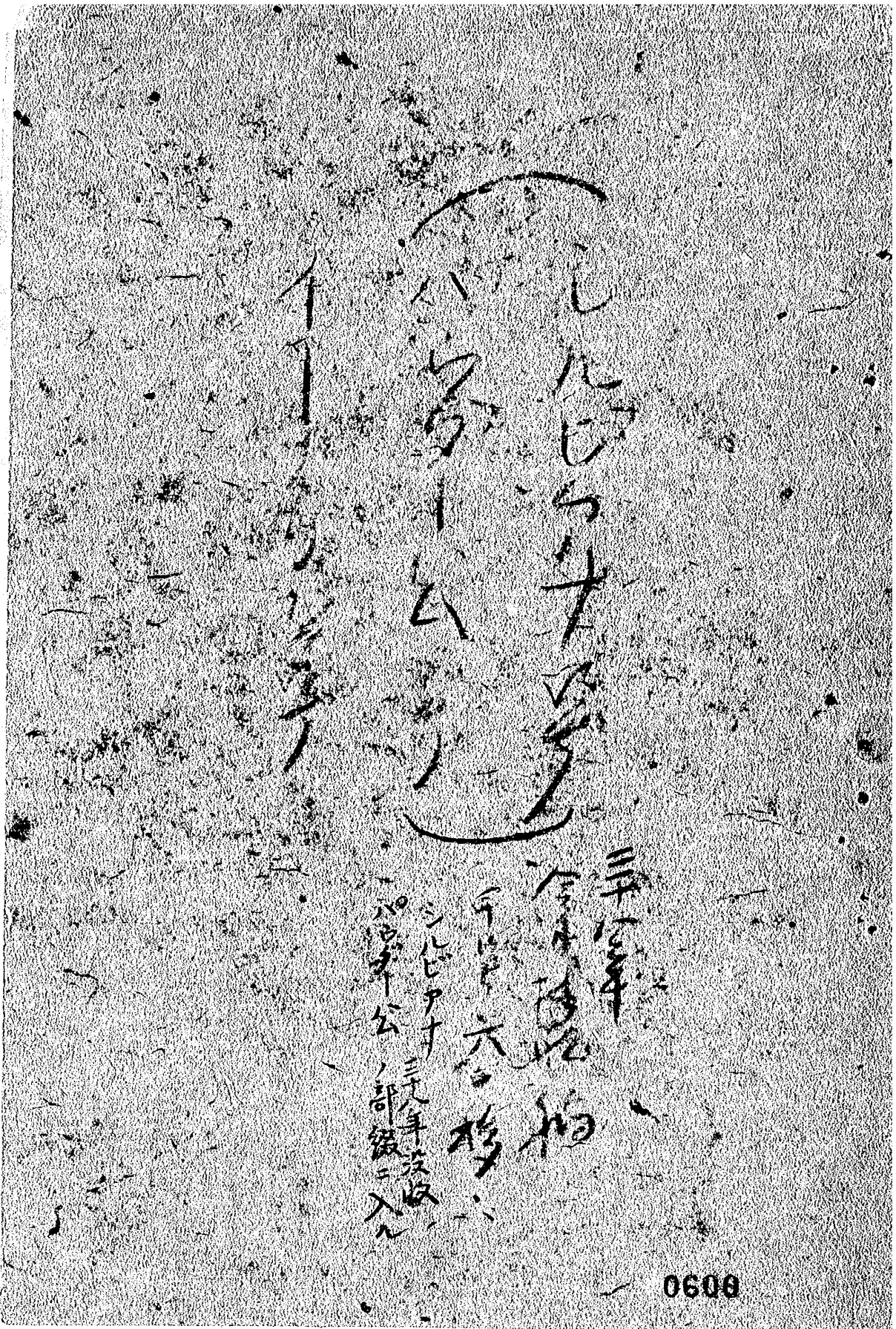


海軍部

海軍分社印刷

0599





0608

臨檢報告 水雷母艦日老丸後部航行中

臨檢年月日 明治三十八年二月廿三日午後十時二十分

臨檢位置 東緯三十三度 東經百二十八度二十分

船名 (英名) 船種 EASTERN, (R.C.H.T.)

船籍 英國

船長 英國

船主 英國

乗客 邦人廿八人 支那人七人

積荷 支那人十人 支那人及支那人合計六十九人

積荷 穀類 穀類 穀類 穀類 穀類 穀類 穀類 穀類 穀類 穀類

積荷 日本丸形 但ニ二桶一烟突

積荷 羊毛、麻、麦

積荷 瀋州、シラ、香港

積荷 上海

積荷 三十八年二月廿二日

積荷 門司、神戸、横濱

積荷 上海、門司、向ノ通津航路

積荷 完全

二月廿三日午後十時三十分一候船乗客大数の月出ツルヲ待ツテ之ヲ三時半時解止  
 七ノ市川大村カシラ臨檢地シタ多ク八ノ陸陸シムバキオ方解津國國人ナク  
 船中ノ主ナル邦人井上某三秋ヲ尋問スルニ船長云、如シト由テ十時三十分解  
 放セタリ

0601

軍令部

軍務局



陸軍



司令官



陸軍部第九

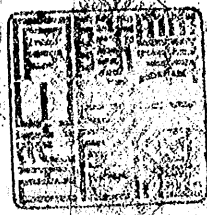
三月六日通達

陸軍部

一日... 六日... 陸軍部... 通達

陸軍部... 通達... 陸軍部... 通達

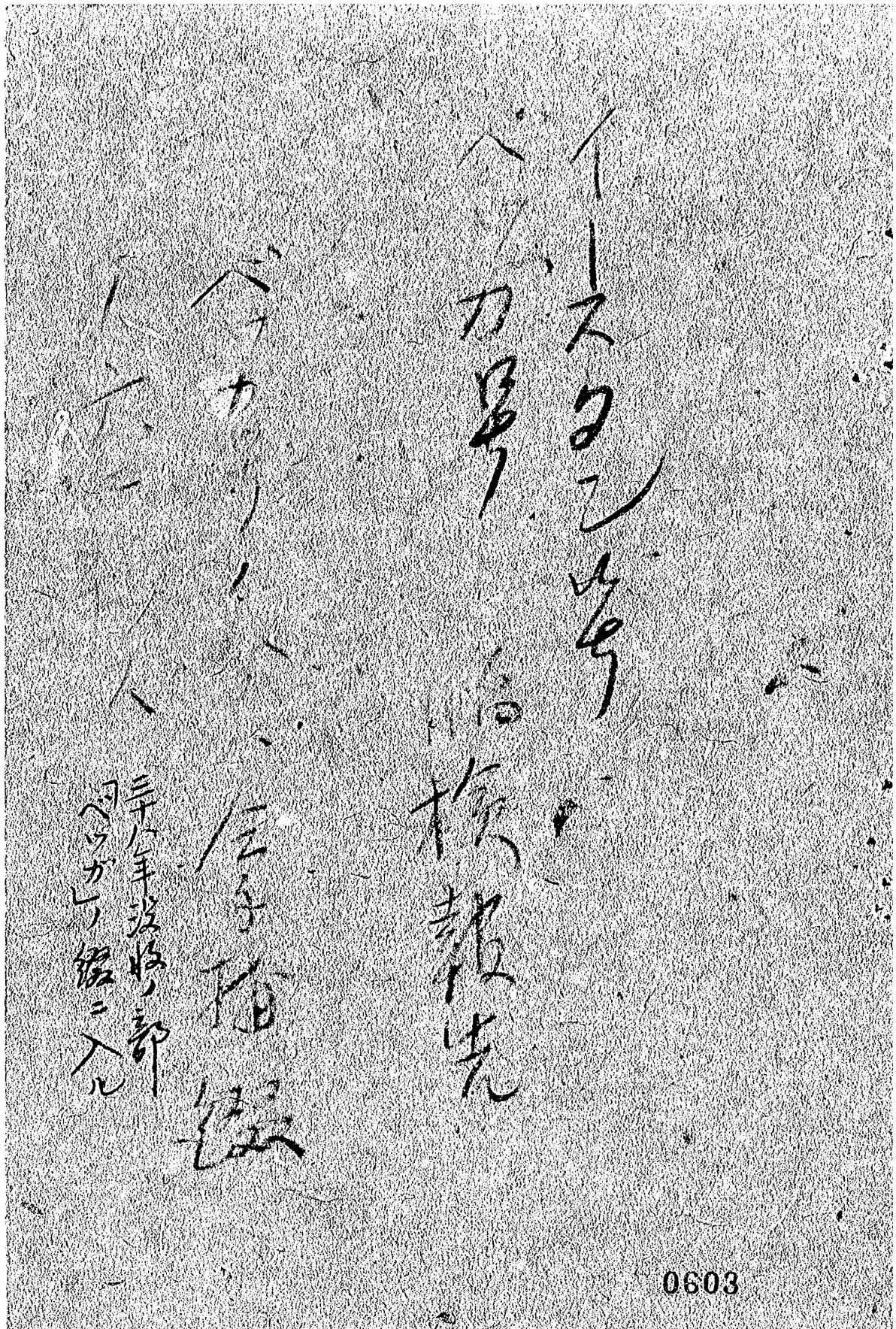
陸軍部... 司令官... 陸軍部... 通達



陸軍部... 通達

0602





三十八年改修ノ部  
ベツカシノ鑑ニ入ル

金子指鑑

檢査先

0603

臨檢報告 小樽船日老在後松本行洋子

臨檢年月日 明治三十年二月二十五日午後十時三十分

臨檢位置 北緯卅三度 東經百二十八度二十分

船名 (英) EASTERN (R. C. H. J.)

国籍 英國

船長國籍 姓 名 Ellis 英國

船主 姓 名 Redd. S.S. Co. London

船員乗客、員数及其国籍  
乗客 邦人廿八人 歐人七人  
船員 歐人十四人 支那及日本人各六十九人

噸数 煤噸数 烟噸数 雜貨噸数  
噸数 二千零八十六 登簿噸数 二千二百七十二

取狀 狀 別 日本丸形 但シ二橋一烟突

重載貨物及荷主 羊毛、麻、麦

出 発 地 廣州、コニラ、香港

出 発 日 時

取 込 出 発 地 上海

最近出発日時 二十八年二月廿二日

最近出発日時 門司、神戸、横濱

航路、航界 上海、門司、向ノ浦、津、神戶

取 込 書 数 完全

取 込 書 数

二月廿三日午後九時三十分一浪航美ルヲ船ノ用出ツルヲ待ツテ之ニ近ク至リ時俾止セシメ市川大尉ヲシテ艦檢セシムルニ當リ艦檢シムルニハキニ艦中係留國人十餘名船客等之至九邦人并ニ其ニ歐人等同不ニ艦長ノ言ニ如シト由テ之時三十分を解放セシメタリ

高千穂機密第三号

臨検報告

英船「シンシリステナ」ニ對シ別紙谷口中尉報告  
ノ通函檢致候處別ニ嫌疑ノ認ルモノ無之解放  
致候條海上捕獲規程第七十二条、依リ臨検報  
告脊及提出候也

明治三十八年二月廿五日

高千穂艦長毛利一兵衛

海軍大臣男爵山本権兵衛殿

司法部

軍務局

軍令部

三二

0605



報告

明治三十八年二月廿四日午後五時命依り英國々旗ヲ揚揚せし  
一汽船ノ北緯三十四度三十七分東經百三十三度三分地点ニ於テ  
臨檢ス船約書類ヲ正明ニシテ怪人ハキ點ナキヲ認メ午後六  
時三十分命依り之ヲ解放セリ船約書類ヲ得ルニ要件左  
ノ如シ

一 同船ハ英國「グラスゴー」ロイヤル・ナヴィー・コンパニイ

(Penlop Steamship Co)ノ所有ニシテ「クイン・クリスタル」

(Queen Christina)ト稱シ登記地英國「グラスゴー」ニ登

記番號「一三九六六」然噸數四二六八〇ニ、登簿噸數二

八〇三、七九ト乘組員三十三名ナリ

一 同船ノ目下香港住人「ジョー」(Jung Lee)及「ホー」(Hoong)

0606

兩名、備航す  
 一、航の書類、總て正明。之ヲ航海日誌ニハ明治三十八年上  
 月廿日函館ニ於テ臨檢、後解放シタル旨第三十海軍長  
 海軍大尉中相徳太ノ証明ナリ  
 一、載貨ノ和炭六千四百五噸。之ヲ北海道炭坑鐵道會社  
 早在香港英國海軍若任將校ニ宛テタルモノナリ其他貨  
 物搭載及ヒ乗客ナシ  
 一、該航ハ明治三十八年二月十九日午後七時十五分盛岡出港  
 今二十日午前八時三十分函館ニ入港今十時出港航路ヲ本  
 邦北方航路冬日午後十時五十分航路故障ノ爲メ停止運泊  
 今二十日午前十一時四十五分再ヒ航路ヲ起セシカ二十日夜  
 鷗鳳ノ會シ航海困難ナリシ以テ微速トシ天候回復スルニ  
 至リテ五運率乃至八運率ニ達度ヲ以テ進航ニ海上靜穏ノ日

0607

八通側八澤半以下航スト多(對馬海峡東北通)向テ金上  
今廿四日午後軍艦高千穂ノ認メ所トナリ臨檢ヲ後ケ  
夕ニモナリ

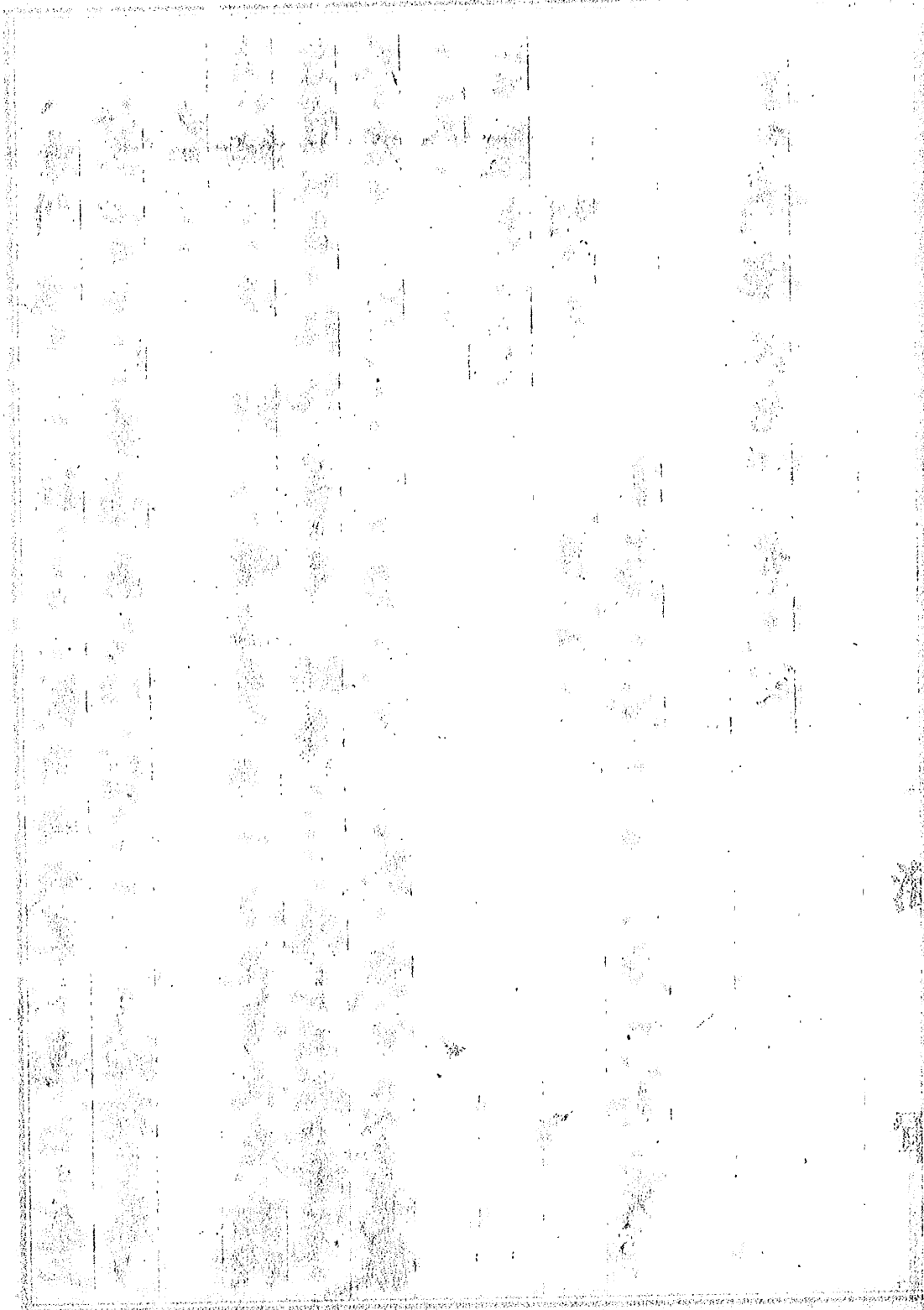
高千穂海日誌ニ臨檢ノ時位置、艦名、艦長官氏名、臨檢  
者官氏名ヲ記述シ置キ、船長ノ言ニ據テ同船ハ香港  
於テ右炭ヲ卸シ先後至急ニ行シ到リ載貨スベク需報  
ヲ後ケナリト

右報告候也

明治三十八年三月廿四日

高千穂分隊長心得 谷口美貞

高千穂艦長毛利兵衛殿



0609

司法部

軍令部

局員

軍務局

三月六

軍務局長官署名



参謀長

副官

参謀



三月六日

三月十日

臨時報告

英艦のイギリス空軍に對して、通商船に  
之を識別し、嫌疑、認む可きもの無き解放せし  
候条、此後報告候也

高千穂艦長毛利一兵衛

高千穂艦長毛利一兵衛

英艦のイギリス空軍に對して、通商船に  
之を識別し、嫌疑、認む可きもの無き解放せし  
候条、此後報告候也

三月三日

0610

臨檢報告 軍艦高千穂

臨檢日時 明治三十八年二月廿四日午後五時

臨檢位置 北緯三十四度三十七分 東經百三十三度三分

船名(符字) Ocean Distina (SMBW)

國籍 英國

船長國籍姓名 英人 Johnson

船主名 Puntlop Steamship Co.

船員數客員數 船員數客員數 船員數客員數

噸數 總噸數四二六八 全備噸數

形狀識別 二橋一煙突 全色黑

載貨 和炭六千四百五噸

出發地 宜蘭(亞細亞)

出發日時 明治三十八年二月十九日午後七時十五分

目的地 香港

航路概略 宜蘭(亞細亞) 香港

船書類 完備

記事

該船由下香港港任人 J. J. Johnson 船長... 船名 Johnson... 航路概略... 宜蘭(亞細亞) 香港... 出發地 宜蘭(亞細亞) 出發日時 明治三十八年二月十九日午後七時十五分 目的地 香港 航路概略 宜蘭(亞細亞) 香港 船書類 完備



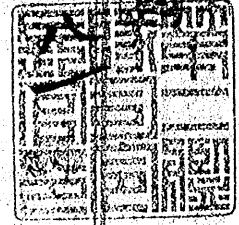
司法局

軍務局

軍令部

了  
子

三月七日進達



参謀

参謀

副官

三月十日

三月七日

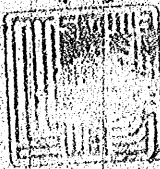
一中立國船泊臨檢報告

吉葉

大進達仕候也  
明治三十八年三月一日

局員

海軍艦長海軍大佐仙



海軍大臣男爵山本權兵衛殿



局員



海軍

0612

臨檢報告(艦艇名)

軍艦對馬

臨檢日時

明治廿八年三月一日午後二時五十分

臨檢位置

神崎燈台、南名東四泊湊

船名(符號)

Malakia (HGDB)

國籍

議成

船長國籍姓名

不詳

船主一名

不詳

噸數

不詳

形狀識別

三福屋突(煙突)辛酉船約、黒澤時、並全船體

出沒地

上海

出沒日時

不詳

目的地

大連島泊地

航路概要

不詳

船舶種類

不詳

意見

凡波強烈ナルヲ以テ信号ニテ訊向シ且々外部ヨリ  
視察スルニ煙水其他ノ情況別ニ怪シムキ点ナキ  
以テ其係航海ヲ継続セシムル

(備考) 臨檢地ハ可成経緯度ニ依ラサルヲ西又ス

供覽

濟

議

天仁九機密第一一號

節員

英國商船 (Acville) 臨檢報告

臨檢年月日 明治三十八年三月二日

臨檢位置 北緯三十二度十五分東經百二十八度二分

船名及符字 Acville RVDI

船長國籍 英國

船長姓名 Steam Power

船主姓名 Ocean of Japan

船員及乘客 英國人二十八名、支那人十三名、乘客ナシ

噸數 總噸數 七千四百三噸

登簿噸數 四千四百五十三噸

載貨及其量 雜貨 (三百四十五箱)

軍令部

軍務局

海

海

三三

形状識別	二橋一煙突
出發地名	「リバープール」
出發年月日	千九百五年一月八日
最近出發地	上海
及其年月日	千九百五年三月一日
到達地名	口津及横濱
船舶書類	完全
航跡概畧	上海ヨリ鳥島ニ至ル直航路
右、明治三十八年三月二日午後四時三十分本艦北緯三十二度十五分東經百二十八度二分地ヲ哨戒中ニ遭遇シ直ニ停止シ命シ臨檢ヲ施行シタルモノニシテ臨檢當時ニ於テ船長ノ態度ニ至ッテ鄭重信實ナルが如ク然レ、隱匿虚偽ヲ構フル状ヲ見ツ其船舶書類ト船長ノ	

0615

口述トシテ對照スルニ別ニ相違ノ點ナキノミナラス海圖上ノ航跡  
ヨリ相像スルモ其出發地ト到達地トハ敵地ニ向フモノニアラサルニ  
ヨリ別ニ捕拿ノ理由ナキモノト判定シ之ヲ解放セシモノ候  
右及報告候也

明治三十八年三月二日

大仁丸艦長 荒川規志



海軍大臣男爵山本權兵衛殿

0616





司法局

軍令部

軍務局

寫員

軍總機密第三四号

三月十一日

臨時報告

本艦三月十日、南洋汽船「コンフィデンサ」号ヲ臨検致  
候。必別紙有沃中尉報告ノ通り嫌疑ノ認め（キヒ）ノ  
無之解放致候條以、飯及報告候也。

明治三十八年三月八日竹敷港

高千穂艦長毛利一兵衛

海軍大臣男爵山本権兵衛殿

三月十一日

奉謀

三月十一日

同

三

0618

報告

明治三十八年三月六日午後一時四十分北緯三十二度五分東經百二十七度五十八分地点に於て命依り伊太利國汽船「コンフィデンザ」號ヲ臨検せし詠船同リ香港ニ航行中モノニテ其船舶書類ハ總テ完整ニ怪ムキ點ナキヲ認メ午後三時命依り之ヲ解放セリ船舶書類ヨリ得ル要件尤ノ如シ

一該船「コンフィデンザ」(Confidenza)ト稱シ伊太利國「ゼネラ」市「ドール」オースト「コンパニー」(Doll's Office & Co.)ノ所有ニテ総噸數二千六百〇二噸登簿噸數一千六百九十八噸ト乗組員伊太利人二十四名ニテ船長「アルリカ」(R. Licca)ト云フ

一該船ニ掃煙突ニテ煙突ノ中央部青色ニ帯ラセシD字ヲ符トシテ其識別トナシ船名符字「N.P.L.B」ナリ

一、載貨日本炭三千五百十噸、ミテ内一千六百六十噸、明司大橋商會、香港安尾商會、死テ残餘ノ一千八百六十噸、三菱會社、香港支店、死テタルモノナリ、其他、載貨及乗客ナシ

一、該船、明治三十七年十一月二十日、英炭ヲ搭載シ、カリダツラ、出港シ、シロガポール、香港ニ寄港シ、三十八年二月十日、佐世保ニ入港、石炭ヲ陸揚シ、全月二十日、佐世保出港、神戸ニ寄港シ、同日、至リ、載貨シ、三月五日午前十一時、門司ヲ出港シ、對馬東水道ヲ通過シ、五島西方ニ出テ、香港ニ向フモノナリ

右報告候也

明治三十八年三月六日

高千穂分隊長心得 有澤四十九郎

高千穂艦長 毛利一兵衛殿

明治三十八年三月七日

軍務局

英國商船「オーシヨン」モナーク」号臨検報告

明治三十八年三月七日午後A哨正警戒中油谷灣沖ニ當リ一條ノ煙テ発見シ之ニ向フ並デ日進ヨリノ余ニヨリ疑ハレキ汽船ナルヲ知リ之ニ對シテ行動ヲ續行セリ

午後四時四十分外國商船ナルヲ艦クニ停船ヲ命ス今五時四十分ニ至リ漸ク停船スルヲ見タリ該船ハ英國商船「オーシヨン」モナーク

号(噸數四百五十一噸)ニテ米國「シヤトル」ニ向赴クト稱セリ

本職ハ直ニ端舟ヲ用意セシメ分隊長海軍大尉宮野好ニテ臨検士官ニ命シ之ニ赴カシム

臨検ノ結果一、船籍英國 一、乗員 薩摩邦人一名、外船長以下悉ク英國人 一、積荷 前部上甲板及中部「バンカー」ニ唐津炭

0621

千六百噸ヲ搭載シ、バラスタシクニ水ヲ充クスノ外、兵庫一航座  
証船、神戸ヨリ門司ヲ経テ唐津ニ到リ、本朝唐津ヲ発シ、津輕海  
域ヲ通過、ポートタウンセントニ直航シ、シヤトルニ向フモノナリシ  
要スルニ出港免状、航海日誌、船内日誌、船籍証明書、船積證書  
乗員名簿、等完備セリ、依テ解放ス

尚別紙取調書相添、此段及往報告候也

明治三十八年三月十日

明石艦長海軍大佐宇敷甲子郎



海軍大臣男爵山本權兵衛殿

0622

寫

英國商船オーション・モナーク号臨検報告

三月七日午後二時三十五分A哨正警戒中日進ヨリ次  
ノ無線電信ニ接セリ

午後一時五分沖島発針路ヨリ察スルニ疑ニキ大航  
一煙突汽船東約ニ十五哩ニ南ヨリ北ニ南島望樓  
發外國商船ト認ムニ橋一煙突船体黒大航西  
約三哩ヲ南西ヨリ北東ニ之ニ對シテ行動ス可シ

先之一時十五分油谷灣沖ニ當リ一赤煙ヲ認メシテ以テ  
之ニ向テ漸次回轉ヲ増加シ四時四十分ニ至リ全クニ橋一  
煙突大航外國商船ト知ルヤ信号ヲ以テ直ニ停船

0623



スベク命セリ未ダ應セス五時廿分前部ナキ珊瑚礁ヲ以テ  
 望遠ニ察ス時ニ英國高船旗ヲ掲ゲルナキ發見セリ  
 而シテ未ダ停止セス依テ汽笛數回ヲ以テ信号ニ注意  
 ヲ促シテ五時四十分三十九分未突ノ距離ニ於テ演習彈  
 一發該船ノ約三百米突ニ向ツテ發射スルヤ遂ニ停  
 船シ水艦ノ間ニ答ヘタル符字信号V T J S ニヨリ、オ  
 シヨン、モナーク、号ナルヲ知り又目的地ノ間ニ答ヘテ「シヤ  
 トルナル」信号ヲナセリ續テ水艦ハ端舟ヲ卸シ小官ハ艦  
 長ノ命ニ依リ臨檢ヲナセリ位置北緯三十四度五十分素全  
 百三十度廿七分ナリ

該船ニ乗ルヤ船長、ウイリアム、マリー、ヲ案内者トシテ船舶

0624

書類海圖上ノ航路概畧目的地寄港地等ヲ訊問シ  
 タリ船籍ハ英國ニテ唐支邦人一巻ノ外船長以下英  
 國人ニテ積荷ハ前部上甲板及中部「バンカー」ニ搭載  
 セル唐漆炭千六百噸ノ外ハ「バラストタンク」ニ水ヲ滴セル  
 ノミ他ハ空庫ナリ前檣赤後檣黒ニテ一燈又赤  
 色ナリ総噸數四千五百十一噸ニテ神戸門ヨリ唐漆  
 ニ来リ本ヨリ前六時三十分唐漆ヲ脱シ本州沿岸ヲ航  
 シ津輕海峡ヲ経テ「ポートタウソンセント」ニ直航シ「ヤト  
 ル」ニ内ノ出港免状航海日誌船内日誌船籍證明  
 書船積證書ニ来員名簿、來員備入契約書、健全  
 證書ハ完全ナリ依テ解放セリ

0625

空砲ニ発ナ発シテ停船セザリシ理由ヲ訊シタルニ空  
砲ニ発ハ更ニ聞カザリシガ一発ノミテ聞續テ船首前  
方ニ彈丸落下セシヲ以テ停船シタリト答ヘタリ  
右反報告候也

明治三十八年三月九日

帝國軍艦明石艦長代理

臨候士官海軍大尉宮野好二

明石艦長海軍大尉宇敷甲子郎殿

0626

大仁九機密第一四号

局員

哨戒中外國商船尋問報告

本艦明治三十八年三月十一日ヨリ今十六日ニ至ル警言戒中  
外國商船ヲ尋問セシモノ尤ノ如シ

一英船 (Pensylvania) 符字 2687

右三月十二日午後一時二十八分本艦大瀬崎正西二十

七哩沖ヲ警言戒中出會セシニツキ信号ニ依リ尋問ヲ試

ミシニ其最近出資地ハ同司ニシテ到達地新嘉坡ナリト云

而ラ其航路ニヨリテ考フルモ南航スルモノナルヲ明ナリシ

トシテ夫レ當日ノ天候險惡波浪大ニシテ到底小端舟ノ

使用ニ堪ハカリシヲ以テ臨檢ヲ行ハズ之ヲ解放セリ

十号ニ依ルニ三月  
二十日長崎入港

南航所在  
表相百九

軍令部

電務局

三六

二獨船 (Muzo Packets) 符字 R H W C

右三月十三日午後零時五十八分本艦鳥島北方二十九哩

沖ヲ警戒中北航セル二檣一煙突(煙突錆色、船体青色)ノ汽

船ミシテ信号依リ尋問セシニ其最近出發地ハ吳淞ニシテ

到達地ヲ門司ト稱シ其積荷ハウォーターバルスト一用ノ

外何物モナク船腹ヲ頭ニシテ外見上貨物ヲ積載シ居ラ

ガルイ明ナルミナラス當日モ天候險悪波浪高クシテ端

舟ノ使用堪ハカリシガ故臨檢ヲ行ズ之ヲ解放セリ

三英船 (Packets) 符字 M W C R

右三月十三日午後三時三十分本艦鳥島北方十七哩

沖警戒中出會セシモノニシテ二檣一煙突(船体黒色煙突

青)ナル汽船ニシテ其出發地ヲリバープールトシ到達地ヲ門

司ト稱シ雜貨ヲ満載シテ針路ヲ對州東水道ニ向ツテ

採ルモノナレト天候險悪端舟ノ使用堪ハガリシガ故ニ僅カ  
ニ尋問止メテ臨檢ヲ施行セズ之ヲ解放セリ

四瑞船  
符字 イロク

右ハ三月十四日正午本艦大瀬崎北西二十九哩沖ヲ警戒  
中出會セシ二橋一煙突ノ汽船ニテ雜貨ヲ滿載シテ芝罘  
ヨリ長崎ニ至ルト称ス而テ今船ハ南船所在表第百九十一  
号附録ニヨレバ三月二十日迄近江谷榮治ノ傭入ニ屬  
スルモノナルモ其檣頭ニ大阪南船會社ノ旗章ヲ掲ゲ且ツ其  
航路モ別ニ怪シムマキ形跡ヲ認メガリシヨリ臨檢ヲ施行セズ  
之ヲ解放セリ

五獨船  
符字 R-204

右ハ三月十五日午後三時五十分本艦鳥島北西約十三  
哩ノ沖ヲ警戒中出會セシ二橋一煙突(煙突及檣黃トモ色)



船体黒色)ノ汽船ニシテ其最近出奔地ヲ香港到達地ヲ門  
司ト称シ雜貨ヲ滿載シテ門司行普通航路ヲ採リ而シテ  
本船ハ三月三日調南船所在表第百九十一号ニ依ルハ三月  
三日長崎発香港ニ向ヒタルモノニシテ他ニ怪シムマキ形跡ヲ認  
メガリシヨリ臨檢ヲ施行セス之ヲ解放セリ

右及報告候也

明治三十八年三月十六日

大仁丸艦長 荒川規志



海軍大臣男爵山本權兵衛殿

0630

千代田機密第三〇號

海軍 三月十四日

0631

進達

一 諸威氣船ハルジス 御信候報告

右 千代田水雷長海軍大尉松下惣六報告ニ付

明治三十八年三月十四日

千代田艦長海軍大佐依仁親王



海軍大臣男爵山本権兵衛殿

軍令部

海務局

河法高



横濱分社印刷



海軍大

存本  
名  
以

海軍

依仁親王殿



換報告  
下惣共報告之分

海軍大臣



横濱分社印刷



0631

海軍大臣宛

多代田飛良

有報告の便百上大臣及び司令官  
各宛に送達する条知由也  
明治十八年三月十四日

0632



諾威瀛船ハルビス号の検報告

命依り明治三十八年三月十四日午後二時東京灣度四十分  
北緯三十三度四十分、地於テ諾威瀛船ハルビス号ヲ臨檢  
ス端艇諾船着テ小松海軍少尉及ヒ水兵ニ名ヲ隨  
ヘ乘船シ全少尉等ヲテ船内ヲ監視セシメ小官ハ直ニ船  
長室ニ至リ船長ニ面談シテ尤ノ口答ヲ得タリ尚船舶書  
類ヲ閲覽セシメ船長ノ口答ニ異ナルナラザルヲ完備セリ

船名 ハルビス号 (Haldis)

所有主 諾威中トリスミヤブルイスガードキヨスタード會社

(Brisgaard Kiostered No)

0633

*Danmang, Norway*

登録噸數

二千三百噸

船長

諾人

*ノルマンディエス (P. O. Jensen)*

積荷

十三

出発地

清國上海

出発時

明治三十八年三月十二日午後九時

仕向地

大日本帝國福岡縣若松

速力

一時九哩

右ニ依リ該船、密輸入船トシテ知リシト金田尚中、爲ノ船長  
ノ全意ヲ得テ船内ノ積荷如何ヲ搜索セシガ一ニ是十三

0634

仍テ信ヲ以テ右概略ヲ報告シ命依リ解放進行ヲ命ズト共  
該船航海日誌ニ尤、如リ記入セリ

本官、明治三十八年三月十四日午後二時東至百二十七度四  
十分北緯三十三度四十分、地ニ於テ大日本帝國海軍艦中  
代田艦長依仁親王、命依リ本船ヲ臨換リ本船上  
海ヨリ若松ニ向フモノニシテ、毫モ怪ムナキヲ以テ解放セリ

明治三十八年三月十四日

中代田兼組海軍大尉松下惣吉印

右報告矣也

明治三十八年三月十四日

臨換士官海軍大尉松下惣吉

0635



千代田艦長依仁親王殿下

0636

運務局長

明治三十八年三月十六日

平務局

諾船 *Panathena* 臨檢報告

明治三十八年三月十六日日本船A哨正哨戒中午前九時廿五分東經百三十一度十二分北緯三十九度七分ニ於テ南々西ニ煤烟及船体上部ヲ認メ直ニ之ヲ追躡シ信獅及汽笛ヲ以テ停船ヲ命ジタルニ該船東經百三十一度十四分北緯三十九度零分位地ニ停止セリ近ツキ檢査スルニ諾船アロメニア区号ナリ該船ハ會社ノ標旗ヲ示サマリシモ本年三月廿日調在東洋及東洋回航中ニ在ルヲ露國商船中立國商船所在表ニ據ルニ日本郵傳會社定期雇入船ナルヲ以テ言達距離内ニ近ツキ其出港地及目的地等ヲ亂センニ長崎ヨリ室蘭ニ赴クモノシテ載貨無シト而シテ其針路及船脚ヨリ判断シテ充令其言ノ信憑心スニキヲ認メ備他ニ何等ノ疑点無キヲ以テ十時二十分ニ之ヲ解放セリ

0637

右及報告候也

明治三十八年三月十七日

明石艦長 宇敷 甲子 郎



海軍大臣 男 齋山 本 權兵衛 殿

0638

司法局

軍務局

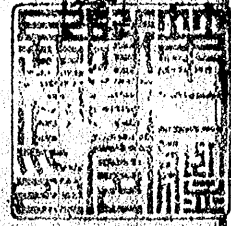
供覽

對馬艦長仙頭武央

謙

進達

三月三日進達



參覽

謙

參覽

三月三日

三月三日

一中立國船舶臨檢報告

但美國商船 *Sacramento Prince* 号

右進達仕候也

明治三十八年三月二十日

對馬艦長仙頭武央



海軍大臣男爵山本權兵衛殿

局員



共通

0639

臨檢報告 (艦艇名) 軍艦對馬

臨檢日時	明治三十四年三月十七日午前十一時十分
臨檢位置	見島、東九運
船名 (符号)	Saomon Prince (R.F.T.S.)
國籍	英國
船長國籍姓名	不詳
船主姓名	不詳
船員名簿 船員及其國籍	不詳
噸數	不詳
形狀識別	二檣煙突、黒色中央赤帶あり、船体鼠色
載貨	不詳
出發地	佐世保
出沒日時	不詳
目的地	室蘭
航路概要	不詳
航行書類	不詳

意見

當時風波強き及び信号ニ誤同セシ本艇、先キ明石ニ捕拿セシ佐世保ニ引致サレシ後解放セシ全地ヲ室蘭ニ西航、途中ナルト判明シ直ニ航海ヲ継続セシメタリ

(備考) 臨檢地ハ可成ニ緯度ニ依ラサルヲ西矣ス

軍令部

軍務局

機密

軍務局長

水音第七七号

別紙海軍報告提出候也  
昭和十八年三月十八日

海軍大臣 野村 胡堂 閣下 敬啟

第一艦隊司令 福田 昌輝



野村 胡堂

海軍

0641



臨檢報告 (艦艇名) 奉天号水雷艦

臨檢日時	明治三十二年六月十五日午後三時
臨檢位置	角島塔台西方約七哩
船名(符号)	ADATO (R5AN)
國籍	美國
船長國籍姓名	James Bonadio 米人
船主名	Master A. Nisbet Co. Managers
噸數	甲四八五噸
噸數	三三四六
形狀識別	二橋二煙突黃色外舷波線色
載貨	七
出發地	神戸唐津港
出發日時	本年三月六日
目的地	北米亞各港
航路概要	神戸唐津港經津海峽ヲ通過シテ北米亞各港ニ向テ
船舶書類	長江税関之船舶書類有之其地獄狀ナレ
記事	二日二時三十分ハイノラ波ニ係リ種々神戶ノ港神戶唐津港ニ至リ白用五五五噸ノ北米亞各港ニ向テ行キ

(備考) 高倉立賣入可成 陸軍省 三三三三三三

軍務局

軍務局

軍令部

水雷第一〇〇号

一臨檢報提  
出通

右提明候也

明治三十八年四月五日

海軍大臣 山本權兵衛 殿

第一艇隊司令 福田昌輝

其国籍 *Guinean* 部ニ級トシ

0643

臨檢報告 (艦艇名)  
 大雷艇(千)号艇

臨檢日時	三月廿四日午後三時
臨檢位置	唐津沖(北)
船名(符号)	GUERNSEY(HMYA)
國籍	諸國
船長國籍姓名	諸國人 A. Gjertsen
船主名	Wilh. Wilhelmsen.
船員乗客員数及其國籍	船員三名(乗客一)
噸數	二千八百八吨
形狀識別	二橋二窓三烟突(四)記(イ)喫煙(イ)形(イ)船(イ)
載貨	無
出發地	長崎港(カ)シヨウ石炭積込(イ)マ(イ)リ(イ)シ(イ)
出發日時	四月四日午時
目的地	唐津
航路概要	門司至(イ)唐津(イ)直航
船舶書類	正確
記事	三月廿四日午後三時、大雷艇(千)号艇、唐津沖(北)に於て、本艦と遭遇し、大雷艇(千)号艇は、本艦の指示に従ひ、唐津に到着し、三月廿五日午後三時、本艦より離れ、唐津に到着した。本艦は、大雷艇(千)号艇の乗組員三名、乗客一名を乗せ、唐津に到着した。本艦は、大雷艇(千)号艇の乗組員三名、乗客一名を乗せ、唐津に到着した。本艦は、大雷艇(千)号艇の乗組員三名、乗客一名を乗せ、唐津に到着した。

(備考) 臨檢位置は、可成緯度ニ依ルヲ要ス

0644